

# 年 報

令和元年度版

(公財)岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター

## 序

当センターは昭和52年に財団法人岩手県埋蔵文化財センターとして設立され、それ以来岩手県教育委員会のご指導や関係機関のご協力のもと、本県における開発事業に伴う発掘調査推進の一翼を担ってまいりました。

令和元年度は、当埋文センターでは、復興道路である三陸沿岸道路建設、それに接続する復興支援道路整備に関連した埋蔵文化財調査を手がけてまいりました。

また、堤防建設などの治水対策事業、企業誘致に関連する施設整備事業、河川改修事業、道路改良事業に伴う調査も行いました。

このように、復興関連調査を中心に防災や安全対策が求められる緊急的な公共事業にも対応し、予定された時間の中で調査が終了できるよう、人材確保や、的確で効率的な調査を進めるための機器の導入など、発掘調査の迅速化に努めてまいりました。

調査を実施した市町村では、多くの方々に発掘作業に従事していただいたほか、現地説明会を開催し調査成果を地元の方々に知っていただく機会を設けて参りました。当センターの調査が多くの方々の協力のもとに進められ、事業の推進だけでなく埋蔵文化財への理解にも貢献していることを強く感じております。

本書は、当該年度に実施した当センターの発掘調査・整理・報告書刊行、遺物の活用、普及啓発、研究等の業務成果を集約したものです。

業務全般について、関係の皆様よりご意見・ご批判などを賜れば幸いです。

令和2年7月

(公財) 岩手県文化振興事業団  
埋蔵文化財センター  
所長 佐々木一成

# 目 次

## 序

I 埋蔵文化財センターの概要	1
1 設立の主旨	1
2 沿革	1
3 組織	2
4 職員数の推移	3
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移	3
6 受託事業費の推移	3
II 事業の概要	4
1 管理業務	4
(1)受託事業	4
(2)研修、諸会議等	4
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務	4
(1)発掘調査業務	4
(2)整理業務	5
(3)報告書発刊業務	8
3 普及業務	12
(1)受託業務	12
①埋蔵文化財展	12
②埋蔵文化財発掘調査技術講習会	12
③埋蔵文化財公開講座	12
④岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発行	13
⑤資料保管・管理	14
(2)自主事業	14
①復興発掘調査展	14
②遺跡報告会	14
③体験教室『夏休み！みんなで考古学者2019』	15
④資格取得	16
⑤研修	16
⑥発刊	17
⑦図書管理	17
⑧所内展示	18
⑨ホームページ運営	18
⑩広報活動	18
⑪遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開	18
⑫資料の実見・資料の貸出・写真の貸出	19
4 外部協力	21
(1)講演・研究発表・報告・会議・指導	21
(2)執筆	22
職員名簿	23
アクセス	24

## I 埋蔵文化財センターの概要

### 1 設立の主旨

豊かな自然に恵まれた岩手県は旧石器時代以来生活の舞台となっており、「埋蔵文化財の宝庫」と呼ばれるほど数多くの文化遺産が受け継がれてきました。それは、時に縄文人の作ったおびただしい数の土偶であったり、12世紀の東日本最大の都市「平泉遺跡群」であったりします。

一方、高速交通網の整備をはじめ多くの開発事業が促進され、これにより遺跡の発掘調査が急増し、調査体制の充実や出土遺物の整理・収蔵を図る施設の建設が要請されることになりました。

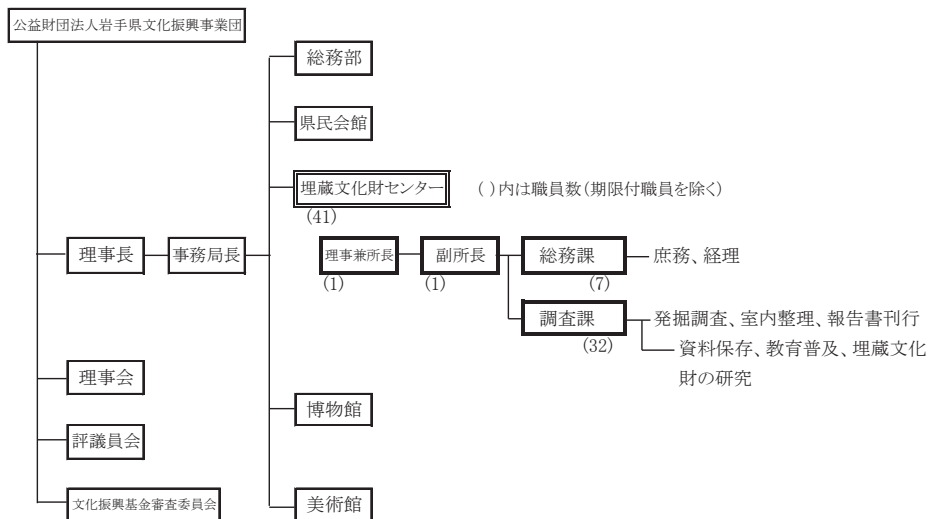
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、このような状況に対処するために設立され、埋蔵文化財の調査、研究、保護思想の普及・啓発などを総合的に行っています。

### 2 沿革

昭和52年4月	財団法人岩手県埋蔵文化財センター設立。組織は総務課、調査課の二課体制 盛岡市向中野39番地の盛岡家畜保健衛生所の旧用地 1,383㎡、旧建物 374㎡ (事務所建 326㎡、車庫 32㎡、雑屋建 16㎡)を借り受け事務所とした
昭和53年10月	所長室、事務室等の管理棟(プレハブ)及び収蔵庫(プレハブ)を建築
昭和54年2月	第1回埋蔵文化財展(市町村巡回)を開催(盛岡市)
昭和55年1月	第1回埋蔵文化財公開講座を開催(盛岡市)
昭和56年4月	岩手県立埋蔵文化財センター庁舎完成(盛岡市下飯岡11地割185番)。同庁舎の 一部を借受け事務所を移転。資料課を新設し三課体制となる
昭和59年11月	機材収蔵庫(旧北プレハブ棟、2階建 580㎡)をリースにより設置
昭和60年3月	第24回理事会において、財団法人の解散と残余財産を新財団法人に引き継ぐこ とに決定
昭和60年4月	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる 総務課を管理課に改称。管理課、調査課、資料課の体制となる
平成2年4月	隣接の教育センター分館を収蔵庫(960㎡)として借用
平成2年11月	室内整理作業棟(旧南プレハブ2階建 660㎡)をリースにより設置
平成8年3月	県予算により整理作業棟(呼称：南プレハブ 2階建プレハブ、654.76㎡)と収 蔵庫(平屋建プレハブ 327㎡)2棟建設 教育センター分館収蔵庫取り壊しに伴い出土品を移動
平成9年8月	プレハブ棟に冷房機を設置
平成11年4月	岩手県立埋蔵文化財センターの施設管理運営業務を受託 調査課を調査第一課に、資料課を調査第二課に改称
平成12年2月	北山倉庫(旧盲学校校舎)に出土品の一部を移動
平成12年8月	機材収蔵庫(プレハブ2階建、リース物件)を建替え 本館改修(屋根、外壁)工事及び浄化槽改修工事を実施
平成13年6月	本館冷房設備設置工事を実施
平成13年9月	水道配水管漏水補修工事を実施
平成14年9月	旧衛生研究所に出土品の一部を移動
平成15年10月	本館耐震診断調査を実施

平成17年 3月	自家発電設備補修工事を実施
平成18年 4月	管理課を総務課に改称
平成22年 4月	旧南プレハブ老朽化のため解体
平成23年 4月	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる
平成24年 4月	調査第一課及び調査第二課を調査課に統合
平成25年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員の3名及び岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員7名とOB職員3名の任用
平成25年11月	盛岡市向中野3丁目18-35に事務所を借り室内整理室の分室とする (～平成26年3月)
平成26年 2月	室内整理作業棟(呼称：南プレハブ 平屋建・334.65㎡、リース物件)の増設
平成26年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員6名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員8名とOB職員6名の任用
平成26年11月	盛岡市西仙北1丁目16-10に事務所を借り室内整理室の分室とする(～令和2年3月)
平成27年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員5名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員5名とOB職員5名の任用
平成28年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員3名と岩手県から2名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員1名とOB職員4名の任用
平成29年 2月	矢巾町大字広宮沢第10地割506番地2に事務所等を借り室内整理室の分室とする(～平成31年3月)
平成29年 4月	東日本大震災復興調査のため、他法人からの出向職員4名と岩手県から1名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員3名とOB職員2名の任用
平成30年 4月	東日本大震災復興調査及び支援のため、期限付調査員3名とOB職員2名の任用及び福島県文化振興財団に職員1名の派遣
平成31年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員1名の派遣

### 3 組織



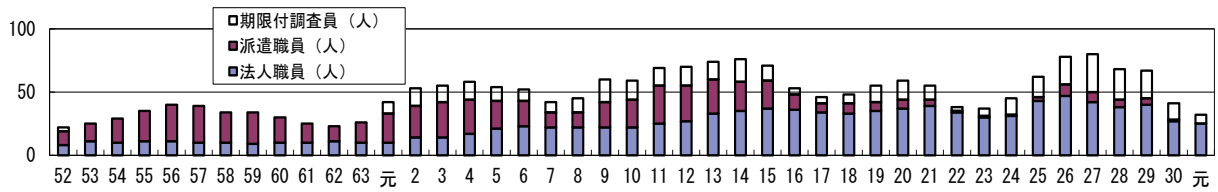
法人職員25名、常勤契約職員9名、期限付調査員7名の41名

#### 4 職員数の推移(昭和52年度～令和元年度)

(人)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
法人職員	8	11	10	11	11	10	10	9	10	10	11	10	10	14	14	17	21	23	22	22	22	22
派遣職員	11	14	19	24	29	29	24	25	20	15	12	16	23	25	28	27	22	20	12	12	20	22
期限付調査員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	13	14	11	9	8	11	18	15
計	22	25	29	35	40	39	34	34	30	25	23	26	42	53	55	58	54	52	42	45	60	59

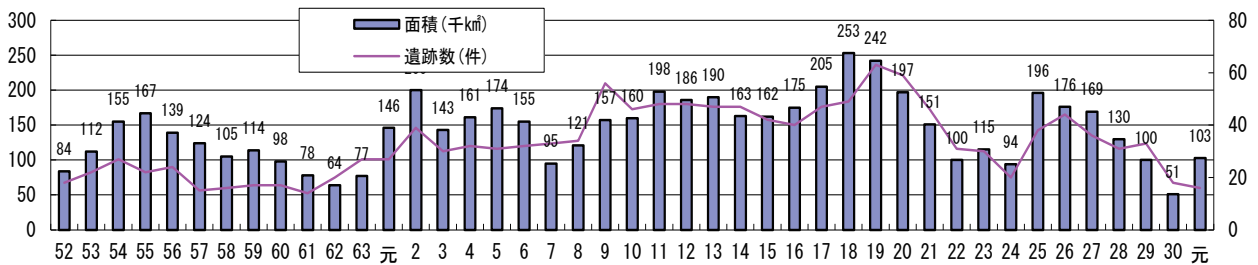
年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
法人職員	25	27	33	35	37	36	34	33	35	37	39	34	30	31	43	47	42	38	40	27	25
派遣職員	30	28	27	23	22	12	7	8	7	7	5	1	1	1	3	9	8	6	5	1	0
期限付調査員	14	15	14	18	12	5	5	7	13	15	11	3	6	13	16	22	30	24	22	13	7
計	69	70	74	76	71	53	46	48	55	59	55	38	37	45	62	78	80	68	67	41	32



#### 5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移(昭和52年度～令和元年度) (千㎡・件)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
調査面積	84	112	155	167	139	124	105	114	98	78	64	77	146	200	143	161	174	155	95	121	157	160
遺跡数	18	22	27	22	24	15	16	17	17	14	20	27	27	39	30	32	31	32	33	34	56	46

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
調査面積	198	186	190	163	162	175	205	253	242	197	151	100	115	94	196	176	169	130	100	51	51
遺跡数	48	48	47	47	42	40	47	49	63	59	46	31	30	20	38	44	36	31	33	18	18

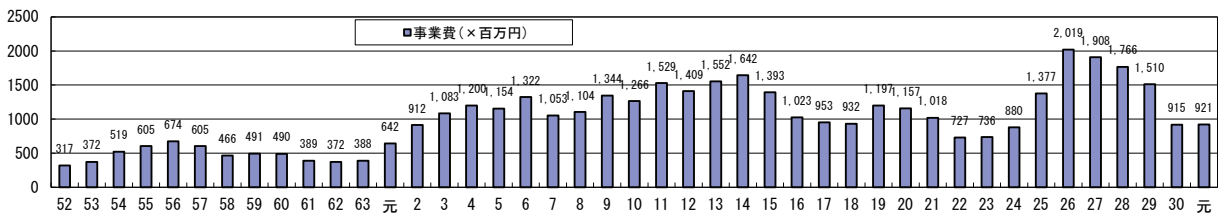


#### 6 受託事業費の推移(昭和52年度～令和元年度)

(百万円)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事業費	317	372	519	605	674	605	466	491	490	389	372	388	642	912	1,083	1,200	1,154	1,322	1,053	1,104	1,344	1,266

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
事業費	1,529	1,409	1,552	1,642	1,393	1,023	953	932	1,197	1,157	1,018	727	736	880	1,377	2,019	1,908	1,766	1,510	915	921



## II 事業の概要

### 1 管理業務

#### (1) 受託事業（施設の管理運営）

##### ① 岩手県立埋蔵文化財センターの管理運営業務受託

本館、室内整理作業棟、収蔵庫2棟、器材収蔵庫棟等の施設・設備の管理保全

##### ② 出土遺物の保管管理

特別収蔵庫（本館2階）、一般収蔵庫（本館3階）、収蔵庫A・B棟のほか、北山収蔵庫（旧盲学校校舎）等を借り受け遺物を保管

#### (2) 研修、諸会議等（専門職員研修等を除く）

##### ① 職員研修（事業団研修）

事業団の運営等を担う人材の育成研修 2月20日（受講者5名）

##### ② 安全衛生関係

安全衛生委員会 月1回（労働安全衛生法第18条第1項に基づく設置）

専門研修 「救急救命講習」（AEDの使い方、その他応急措置） 6月28日

安全及び衛生管理体制の充実

第2種衛生管理者準備講習（受講者2名）

地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習（受講者1名）

有機溶剤作業主任者講習（受講者6名）

化学物質のリスクアセスメントセミナー（受講者5名）

##### ③ 諸会議

事業団理事会 5月30日、6月25日、7月25日、11月27日、3月18日

事業団評議会 6月25日

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課・事業団 埋蔵文化財業務連絡会 5月24日

### 2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務

#### (1) 発掘調査業務

令和元年度の発掘調査は、当初計画では12遺跡、112,178㎡の規模でスタートしたが、その後4遺跡が追加となり、最終的には16遺跡、103,066㎡を調査した。前年度実績18遺跡、51,405㎡に比較すると調査面積が倍増している。これは北上市での工業団地への企業誘致に関連する、北上市及び岩手県企業局の関連事業が計画されたことにより、一時的に調査面積が増大したものである。企業誘致関連の調査は、全調査面積の7割以上を占めている。調査遺跡は県内全域に及び6市3町で発掘調査を行った。16遺跡の内訳は、通常の開発行為に伴う調査が7件、復興事業に関連する調査が9件となっている。通常調査では、堤防建設などの治水対策事業、企業誘致に関連する施設整備事業、河川改修事業、復興関連調査では、防潮堤関連道路建設、三陸沿岸道路建設、県内陸部と沿岸部を接続する復興支援道路事業などである。復興道路である三陸沿岸道路建設では、今年度調査した板橋Ⅱ遺跡他4遺跡の調査をもって三陸道路本線関係の発掘調査はすべて終了した。本年度は各時代、各時期にわたり全体的に遺構検出数・遺物出土量とも多くなかった。16遺跡中、城館関係の遺跡として5遺跡が調査された

ことは特筆される。

縄文時代では、洋野町の板橋Ⅱ遺跡では、草創期の爪形文の出土が確認された。同じく、洋野町の伝吉Ⅱ遺跡では土坑・陥し穴状遺構の他、長軸9.4mほどの隅丸長方形の前期前半頃の住居が1棟見ついている。宮古市の根井沢穴田Ⅳ遺跡でも、前期の住居跡の一部を確認している。中期では、北上市の成田岩田堂館跡で中期中頃の竪穴住居1棟が見つかった。広大な遺跡地に単独で住居が存在する背景を検討する必要がある。後期では、前半の住居跡1棟が板橋Ⅱ遺跡でみつかり、昨年度からの2ヶ年の調査で縄文時代後期前半の住居跡を中心に13棟の住居跡が見つかり、当該地域の核となる集落と考えられる。二子城跡(県受託分)でも、後期前半の3棟の住居跡が見つかり、他にこの遺跡からは晩期の住居跡1棟、土器埋設遺構5基などが見つかり、一関市の勝善遺跡で明確な形状は把握できなかったが、ともに石囲炉を持つ晩期の住居跡2棟が見つかり、

弥生時代では、北上市の成田岩田堂館跡で弥生時代前半の深鉢土器が直立に埋設された遺構がみつかり、同遺跡からは同時期の遺構は確認されていない。

奈良～平安時代では、紫波町の北条館跡から2棟の住居跡、12世紀代の土坑・溝跡のほか、かわらけが出土している。宮古市沼里遺跡では3棟の住居跡、成田岩田堂館跡で11棟の住居跡のほか炭窯6基、鉄滓などがみつかり、

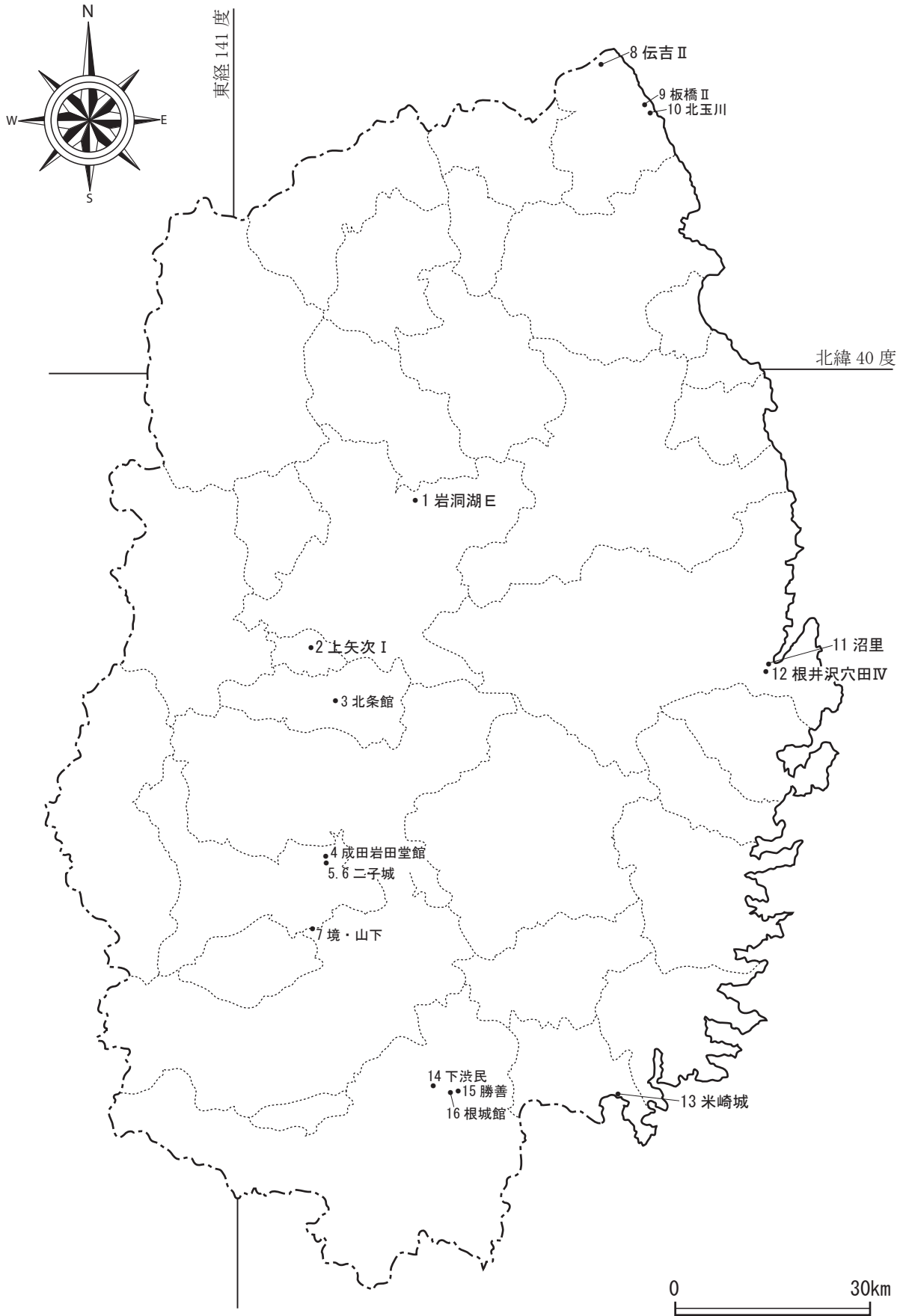
中世関係では、北上市からの依頼による二子城跡の調査で、中世城館二子城跡に属する堀跡2条が検出された。二子城と密接な関連を持つ成田岩田堂館跡の調査では、東側を除く北側・南側・西側の三方を土塁と堀で画された館跡であることが明らかになった。南側に出入口施設である門と西門がみつかり、堀と土塁で囲まれた館内部の北側には、中心となるような最も大きな掘立柱建物が位置していた。成田岩田堂館跡から出土する陶磁器は16世紀代(戦国時代)に限定され、16世紀に築かれ17世紀(江戸時代)に入る前に廃絶されたことが明らかになった。紫波町にある北条館跡は昨年度からの継続調査である。昨年の調査区は、今回の調査区より一段低い南側で、上端8m前後の大きな堀や掘立柱建物などを確認している。今年度の調査では、竪穴建物16棟、掘立柱建物30棟(今後更に増加)、柱列12基、堀3条、土橋1箇所、柱穴3千数百個をみついている。遺物では、中国産天目茶碗、明染付、中国産白磁、中国産青磁、瀬戸美濃産陶器、信楽産陶器、永楽通宝や洪武通宝などの銭貨などが出土している。16世紀後半代を中心とした城館であるが、豊臣秀吉による破却令(1592年)で廃絶された可能性も想定されている。

岩手県教育委員会からの委託事業である柳之御所遺跡発掘調査事業については1名の調査員を継続派遣したほか、復興関連の調査支援として、昨年度に引き続き1名の職員を(公財)福島県文化振興財団へ派遣した。

## (2)整理業務

三陸国道事務所関係では6遺跡(沢田Ⅲ遺跡・間木戸Ⅰ遺跡・高根遺跡・北ノ沢Ⅰ遺跡・宿戸遺跡・鹿糠浜Ⅰ遺跡)、沿岸広域振興局関係では1遺跡(田鎖車堂前遺跡)、市町村関係では大船渡市からの委託事業1遺跡(長谷堂貝塚)の計8遺跡について室内整理業務を実施した。





令和元年度発掘調査遺跡位置図

表1 令和元年度発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	面積 (㎡)	調査期間	事業名	調査成果
1	岩洞湖E遺跡	盛岡市	1,233	9/1-10/24	国営岩手山麓農業水利事業	〈検出遺構〉縄文時代：沢跡1 近現代：溝跡1 〈出土遺物〉縄文時代：土器1点
2	上矢次I遺跡	矢巾町	1,700	4/8-6/14	一級河川岩崎川筋上矢次地区河川改修(その9)	〈検出遺構〉平安時代(9世紀)：土坑1 溝1 焼土遺構1 柱穴54 〈出土遺物〉平安時代(9世紀)：土師器・須恵器大コテナ1
3	北条館跡	紫波町	4,800	4/8-11/27	北上川緊急治水対策事業	〈検出遺構〉古代(9～10世紀)：住居跡2 古代(12世紀)：土坑5 溝3 中世(16世紀)：住居跡16 掘立柱建物30 柱列(柵列)12 堀3 土橋1 礫層分布範囲1 不明遺構1 中世～近世初頭：炉跡27 井戸1 中世及び時期不明：土坑64 溝24 柱穴3300 時期不明(縄文時代?)：周溝5 〈検出遺物〉縄文時代(中・晩期)：土器13号袋2 古代：土師器・須恵器・かわらけ・陶磁器大コテナ3 銭貨5 古代～中世：金属製品小コテナ1 敲磨器類・砥石等中コテナ8 中世：陶磁器大コテナ2.5 銭貨20 江戸～明治：陶磁器中コテナ1 寛永通宝1
4	成田岩田堂館跡	北上市	62,386	4/4-11/28	北上市終末処理場建設事業	〈検出遺構〉縄文時代：住居跡1 陥し穴23 土坑45 弥生時代：埋設土器1 古代：住居跡11 炭窯6 溝2 その他2 中世：堀2 土塁4 出入口施設2 掘立柱建物19 墓壇32 カマド状遺構1 柱穴約1000 近世：掘立柱建物1 屋外炉10 溝5 土坑6 時期不明：土坑47 焼土15 溝26 その他7 〈出土遺物〉縄文時代：土器中コテナ1 石器中コテナ1.5 弥生：土器中コテナ1.5 古代：土師器中コテナ2 鉄製品小袋1 中世：陶磁器4 近世：陶磁器小袋1
5	二子城跡	北上市	9,000	7/16-10/31	北上市特定公共下水道終末処理場整備事業	〈検出遺構〉中世：堀跡2 〈出土遺物〉縄文時代：土器1点
6	二子城跡	北上市	10,901	4/4-7/31	第一北上中部工業用水道浄水場整備事業	〈検出遺構〉縄文時代：住居跡4 土坑54 焼土12 埋設土器5 陥し穴26 粘土採掘坑 中世以降：溝20 柱穴状P164谷地形1 〈出土遺物〉縄文時代：土器大コテナ2 石器大コテナ5 中世：磁器1 近世：陶器1
7	境・山下遺跡	奥州市	600	9/1-11/11	主要地方道一関北上線山下地区地域連携道路整備事業	〈検出遺構〉平安時代：住居跡2 時期不明：土坑2 溝跡1 〈出土遺物〉平安時代：土師器・須恵器 コテナ1/2 縄文弥生土器 袋小1
8	伝吉II遺跡	洋野町	2,490	4/8-5/30	三陸沿岸道路	〈検出遺構〉縄文時代：住居跡1 陥し穴5 土坑9 〈出土遺物〉縄文時代：土器コテナ小1.5 石器 コテナ小1.5(黒曜石剥片含む)
9	板橋II遺跡	洋野町	3,270	4/8-5/31	三陸沿岸道路	〈検出遺構〉縄文時代：住居跡1 陥し穴8 土坑9 〈出土遺物〉縄文時代：土器コテナ大0.5 石器コテナ中1.5 土偶1点 陶磁器数点
10	北玉川遺跡	洋野町	1,379	5/30-6/26	三陸沿岸道路	〈検出遺構〉縄文時代：陥し穴1 〈出土遺物〉縄文時代：土器8号袋1 石器コテナ小0.2
11	沼里遺跡	宮古市	305	7/1-7/31	三陸沿岸道路	〈検出遺構〉古代：住居跡3 柱穴1 中世：竪穴建物1 土坑1 〈出土遺物〉縄文時代：土器数点 石器8号袋2 古代：土師器・須恵器小コテナ1
12	根井沢穴田IV遺跡	宮古市	158	8/1-8/28	三陸沿岸道路	〈検出遺構〉縄文時代：住居跡1 近現代：土坑2 時期不明：土坑2 〈出土遺物〉縄文時代：土器2 石器8号袋1 近現代：家畜骨牛馬大コテナ2 蹄鉄3 陶磁器3
13	米崎城跡	陸前高田市	2,770	4/8-6/28	防潮堤関連付帯道路	〈検出遺構〉縄文時代：土坑1 古代：住居跡1 近世：土坑1 時期不明：住居跡1 土坑2 柱穴14 〈出土遺物〉縄文～弥生時代：土器9号袋1 石器9号袋1 古代：土師器・須恵器コテナ小0.5 中世：天目茶碗2(小破片) 銭貨(永楽通宝)2 近世：銭貨(寛永通宝)2 鉄製品1
14	下洪民遺跡	一関市	123	7/1-7/15	地域連携道路整備事業	〈検出遺構〉時期不明：溝5 〈出土遺物〉縄文時代：土器1点 石器11点 古代：土師器コテナ小1/2 近世：磁器2点

No.	遺跡名	所在地	面積 (㎡)	調査期間	事業名	調査成果
15	勝善遺跡	一関市	1,001	7/9-8/30	地域連携道路整備事業	〈検出遺構〉縄文時代：炉2 時期不明：土坑2 柱穴45 〈出土遺物〉縄文時代：土器大コナ2 石器小コナ1 近世：磁器1
16	根城館跡	一関市	950	9/2-9/26	地域連携道路整備事業	〈検出遺構〉城館を構成する斜面地の一部 〈出土遺物〉なし

### (3) 報告書発刊業務

過年度発掘調査した遺跡14遺跡について、12冊の報告書を刊行した。三陸国道事務所関係では7冊(石峠Ⅱ遺跡、中平遺跡、青猿Ⅰ遺跡、千徳城遺跡群、上代川遺跡、サンニヤⅢ遺跡、田ノ端Ⅱ遺跡)、岩手県関係では、県南広域振興局2冊(杉の堂遺跡、万丁目遺跡)、沿岸広域振興局1冊(田鎖遺跡・田鎖館跡・田鎖車堂前遺跡)、市町村関係では大船渡市関係1冊(長谷堂貝塚)、普代村関係1冊(下村遺跡)である。

本年度調査した16遺跡について、沼里遺跡ほか5遺跡(根井沢穴田Ⅳ遺跡、伝吉Ⅱ遺跡、岩洞湖E遺跡、上矢次Ⅰ遺跡、米崎城跡)は本報告として、北条館跡ほか9遺跡(板橋Ⅱ遺跡、北玉川遺跡、二子城跡、境・山下遺跡、下洪民遺跡、勝善遺跡、根城館跡、成田岩田堂館跡、二子城跡)は今年度調査の概要として、「令和元年度発掘調査報告書」に掲載した。

表2 令和元年度発掘調査報告書発刊一覧

巻号	遺跡名	所在地	委託者	編著者名	総頁数	印刷業者	調査年度等
709	石峠Ⅱ遺跡	山田町	国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所	北村 忠昭	1470	杜陵高速印刷(株)	平成25・26・27年度調査
710	中平遺跡	野田村		北田 勲	212	(有)セーコー印刷	平成26・27・29・30年度調査
711	青猿Ⅰ遺跡	宮古市		阿部 勝則	330	杜陵印刷(株)	平成27・28・29年度調査
712	千徳城遺跡群	宮古市		野中 裕貴	294	トーバン印刷(株)	平成28・29年度調査
713	上代川遺跡	野田村		北田 勲	714	(株)興版社	平成28年度調査
714	サンニヤⅢ遺跡	洋野町		高木 晃	148	(株)光文社	平成28・29・30年度調査
715	田ノ端Ⅱ遺跡	洋野町		村木 敬	274	川口印刷工業(株)	平成29・30年度調査
716	杉の堂遺跡	奥州市		県南地方振興局	村上 絵美	536	(株)富士屋印刷所
717	万丁目遺跡	花巻市	羽柴 直人		660	山口北洲印刷(株)	平成30年度調査
718	田鎖遺跡・ 田鎖館跡・ 田鎖車堂前遺跡	宮古市	沿岸広域振興局	福島 正和	1300	(株)熊谷印刷	平成26・27・28・29年度調査
719	長谷堂貝塚	大船渡市	大船渡市	高木 晃	516	川口印刷工業(株)	平成28・29年度調査
720	下村遺跡	普代村	普代村	八木 勝枝	130	(株)阿部印刷	平成30年度調査
708	令和元年度発掘調査報告書：沼里遺跡・根井沢穴田Ⅳ遺跡・伝吉Ⅱ遺跡・岩洞湖E遺跡・上矢次Ⅰ遺跡・米崎城跡ほか調査概報10遺跡				130	(株)五六堂印刷	平成30年度



北条館跡



成田岩田堂館跡



二子城跡



板橋Ⅱ遺跡



伝吉Ⅱ遺跡



沼里遺跡



上矢次Ⅰ遺跡



北玉川遺跡



岩洞湖E遺跡



二子城跡



根井沢穴田Ⅳ遺跡



根城館跡

### 3 普及業務

#### (1) 受託業務

##### ① 埋蔵文化財展

令和元年11月29日（金）から12月1日（日）の3日間、一関文化センターで「文化・芸術が集うとき in 一関」の一環として埋蔵文化財展を実施した。埋蔵文化財展としては40回目、県民会館・県立美術館・県立博物館との共催としては7回目になる。埋蔵文化財センターは昭和52年の設立以来、道路建設や河川改修などの公共事業に先立って遺跡の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を行ってきたが、一関市でも昭和58年以来、30回をこえる調査を実施した。今回の埋蔵文化財展は、これまでに当センターが一関市で行った調査について、そのときの様子を写した写真や、その時に出土し、保管している出土遺物を展示した。

最終日には当センター調査員による展示説明会がおこなわれた。発掘調査した遺跡や出土した遺物の詳しい解説が行われた。入場者は3日間で573名だった。



埋蔵文化財展の様子

##### ② 埋蔵文化財発掘調査技術講習会

毎年、県内の埋蔵文化財担当の職員を対象として発掘調査に必要とされる技術・知識の講習を行っている。今年度は令和元年12月6日（金）に盛岡市の県立博物館を会場に実施した。

今回は弘前大学人文社会科学部准教授の上條信彦先生に「縄文時代石器の概要と石器使用痕分析」のテーマで講習をしていただいた。午前中の講義のうち、午後は石器製作の実例を含め、石器使用痕の分析の実習を行った。参加者からは「今現在の研究の動向が把握できた」などの感想が寄せられた。参加者は41名であった。



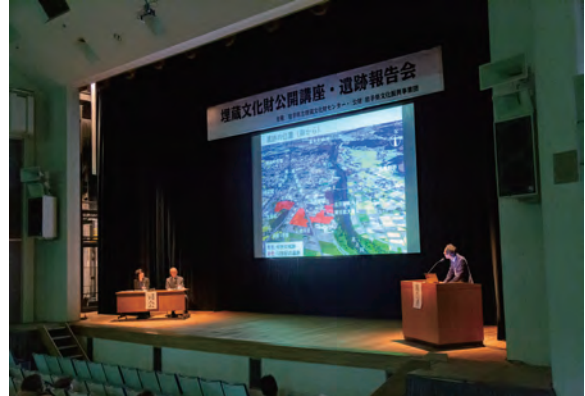
技術講習会の様子

##### ③ 埋蔵文化財公開講座

令和2年2月1日（土）、埋蔵文化財公開講座を自主事業の遺跡報告会と同時に岩手県民会館中ホールを会場に実施した。午前の第一部に「岩手県域における室町・戦国期の政治的枠組み」と題して岩手大学教育学部教授の菅野文夫先生にご講演いただいた。近年、県内では中近世の発掘調査が増加していることもあり、考古学的な発掘だけでなく文献の上からの考察に、受講者からは「はじめて聞く話もあり、満足でした」「糠部、岩手、志和の成り立ちをよく理解できました」などの感想が寄せられた。受講者は157名であった。



公開講座の様子



菅野文夫先生の講義

#### ④ 所報「わらびて」の発行

6月と2月の年2度、岩手県立埋蔵文化財センター所報『わらびて』を発行している。令和元年度は140号と141号を発行した。



140号(令和元年6月29日発行)

#### 140号の内容

- ・平成29年度に市町村等が行った県内発掘調査
- ・平成30年度公財岩手県埋文センター発掘調査事業計画
- ・平成24～29年度の復興関連調査の成果
- ・他県から派遣された職員の方々からのメッセージ
- ・イベントのお知らせ
- ・人事動向



141号(令和2年2月28日発行)

#### 141号の内容

- ・平成30年度発掘調査の成果
- ・平成30年度に注目された遺跡  
国史跡 盛岡城跡(盛岡市)、奥州街道跡(北上市)、黒山の昔穴遺跡(九戸村)、無量光院跡(平泉町)
- ・福島県への派遣職員からの報告
- ・イベントの報告



## ⑤ 資料保管・管理

発掘調査で出土した県保有出土品を整理・管理している。岩手県教育委員会の通知を受け、貸出業務及び市町村への譲与を行っている。令和元年度は1市1町2村への譲与を行った。

表3 市町村譲与

No.	市町村	集数	遺跡名	コンテナ数	期日
1	陸前高田市	第 630 集	上長部館跡	13	R1. 6. 17
2	陸前高田市	第 638 集	花館跡	33	R1. 6. 17
3	陸前高田市	第 669 集	西和野 I 遺跡	4	R1. 6. 17
4	陸前高田市	第 691 集	高田城跡	6	R1. 6. 17
5	田野畑村	第 635 集	野場 I 遺跡	124	R1. 10. 1
6	田野畑村	第 645 集	島越 II 遺跡	1	R1. 10. 1
7	田野畑村	第 645 集	島越 XIV 遺跡	22	R1. 10. 1
8	田野畑村	第 645 集	菅窪遺跡	10	R1. 10. 1
9	田野畑村	第 647 集	沼袋 II・III 遺跡	1	R1. 10. 1
10	田野畑村	第 655 集	浜岩泉 III 遺跡	22	R1. 10. 1
11	田野畑村	第 656 集	菅長屋構 II・III 遺跡	21	R1. 10. 1
12	田野畑村	第 692 集	和野新墾神社遺跡	2	R1. 10. 1
13	洋野町	第 686 集	北鹿糠遺跡	25	R1. 11. 12
14	洋野町	第 687 集	サンニヤ I 遺跡	33	R1. 11. 12
15	洋野町	第 692 集	中野城内遺跡	9	R1. 11. 12
16	洋野町	第 697 集	南鹿糠 I 遺跡	23	R1. 11. 12
17	洋野町	第 698 集	上のマッカ遺跡	42	R1. 11. 12
18	洋野町	第 699 集	小田ノ沢遺跡	21	R1. 11. 12
19	洋野町	第 701 集	荒津内遺跡	7	R1. 11. 12
20	洋野町	第 702 集	鹿糠浜 I 遺跡	43	R1. 11. 12
21	洋野町	第 703 集	南八木遺跡	15	R1. 11. 12
22	九戸村	第 708 集	沖 I 遺跡	1	R2. 2. 5
				計 478	

## (2) 自主事業

### ① 復興発掘調査展

東日本大震災からの復興工事に伴う発掘調査の成果を地元で公開するため、令和元年 11 月 2 日(土)から 6 日(水)の 5 日間、田野畑村アズビィ楽習センターで『復興発掘調査展 in 田野畑村』を開催した。平成 24 年度以降、当センターが田野畑村内で行った復興関連調査の成果を展示した。田野畑村から出土した土器を遺跡ごと展示するとともに、発掘調査の様子を写した写真パネルも展示した。5 日間で 352 名が来場した。

### ② 遺跡報告会

遺跡報告会は受託業務の埋蔵文化財公開講座と同時に、令和 2 年 2 月 1 日(土)に岩手県民会館中

ホールを会場に開催された。今年度は当センターが発掘した4遺跡と復興支援で職員を派遣している福島県の1遺跡を紹介した。

表4 令和元年度遺跡報告会で報告した遺跡とその内容

報告遺跡	時代と内容	報告者
北条館跡（紫波町）	日詰の地に築かれた平城	村田 淳文化財専門員
成田岩田堂館跡（北上市）	戦国時代の城館など	杉沢昭太郎主任文化財専門員
二子城跡（北上市）	岩手県最大の中世城館	羽柴 直人主任文化財専門員
伝吉Ⅱ遺跡（洋野町）	縄文時代の大型住居	星 雅之課長補佐
前田遺跡（福島県伊達郡川俣町）	長きにわたり営まれた縄文遺跡	須原 拓 福島県文化振興財団文化財主査



復興発掘調査展 出土土器の展示



当センター職員による発掘調査報告

### ③ 体験教室『夏休み！ みんなで考古学者2019』

7月29日（月）と30日（火）の2日間、児童を対象とした体験学習を当センターで行った。保護者を含め703名の参加があった。内容は発掘、測量、拓本、接合の体験と展示見学、縄文スタジオでの写真撮影などである。体験修了した児童416名には「こども考古学者認定証」を交付した。児童のアンケートには

- ・「一番楽しかったのはははくつごっこです。なぜかという、すなの中から、いろいろなおたからを、みつけることが、できるからです。」
- ・「どきパズルで、26ピースのむずかしい物をしたけど、できてうれしかったです。」
- ・「もよううつしとりできるのがたのしかったです。」などの感想が寄せられた。



竪穴住居模型の前で撮影



縄文服コーナー

④ 資格取得

●第二種衛生管理者 2名

(課長補佐 高木 晃、主任文化財専門員 羽柴 直人)

●有機溶剤作業主任者 6名

(主幹兼課長補佐 金子 佐知子、主任文化財専門員 杉沢 昭太郎、主任文化財専門員 西澤 正晴、文化財専門員 福島 正和、文化財専門員 八木 勝枝、文化財調査員 野中 裕貴)

●化学物質リスクアセスメントセミナー 5名

課長補佐 星 雅之、主任文化財専門員 阿部 勝則、主任文化財専門員 村上 拓、主任文化財専門員 村木 敬、文化財専門員 北村 忠昭)

⑤ 研修

●人材育成研修

令和2年2月20日(木)事業団の運営等を担う人材の育成研修 受講者：5名

(主任主査 吉田 秀幸、主任文化財専門員 阿部 勝則、主任文化財専門員 丸山 直美、文化財専門員 八木 勝枝、文化財専門員 北田 勲)

●職員専門研修

令和元年6月28日(金)救命救急講習 参加者：所長及び各課職員41名

令和元年12月6日(金)第40回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

「縄文時代石器の概要と石器使用痕分析」

講師：弘前大学准教授 上條 信彦 氏 受講者：調査課職員 39名

令和2年2月7日(金)所内研修「堀立柱建物の構造と変遷」

講師：八戸市博物館 中村 隼人 氏 受講者：調査課職員 24名

●期限付職員実地研修

令和元年10月4日(金) 参加者：期限付職員ほか 43名

●外部研修への派遣

◆文化庁

令和2年2月18日(火)～21日(金)

埋蔵文化財専門職員等を対象とした文化財マネジメント職員養成研修 受講者：1名  
(課長補佐 星 雅之)

◆全国埋蔵文化財法人連絡協議会

令和元年12月12日(木)～13日(金)令和元年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会

受講者：2名(主幹兼課長補佐 金子 佐知子、主事 松尾 健生)

◆独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

令和2年2月12日(水)～14日(金)文化財防災・減災課程

受講者：1名 (主任文化財専門員 羽柴 直人)

◆産業技術短期大学校

令和元年6月24日(月)～25日(火)初級管理・監督者研修

受講者：1名 (総務事務員 築田 智恵)

令和元年9月17日(火)～18日(水)中堅社員研修 受講者：1名(総務事務員 武田 秀徳)

令和元年11月27日(水)～28日(木)Access

受講者：2名 (総務事務員 佐々木真紀子、総務事務員 舘澤 彩)

令和2年1月28日(火)～29日(水)ExcelVBA入門

受講者：2名 主事 松尾 健生、総務事務員 佐々木 真貴子

⑥ 発刊

●紀要 第39号

当センターの研究紀要として、昭和55(1980)年以来発刊している。今年度は論文2編、研究ノート2編、資料紹介3編を掲載した。

表5 紀要39号の内容

(論文)	
金子 昭彦	東北地方・縄文晩期の土偶関連遺物 (5)
中村 隼人・滝尻 侑貴・野田 尚志	江戸の南部屋敷 (3) - 盛岡藩南部家江戸上屋敷の研究 2 -
(研究ノート)	
山川 純一	竪穴建物に伴う外延溝 (4) - 古代陸奥国巖手・幣伊郡域の在り方 -
吉岡 由哲	古写真の研究資源化 - 久田佐助関連古写真を事例として
(資料紹介)	
村田 淳	一関市河崎の柵擬定地出土緑釉陶器の再検討
福島 正和	花巻市中嶋遺跡の白磁ビロースク碗
河本 純一	宮古市根井沢穴田IV遺跡出土のサイダー瓶

●年報 令和元年度版

当センターが令和元年度に実施した発掘調査・整理・報告書刊行、遺物の活用、普及啓発、研究普及等の業務成果記録を掲載し、平成30年度以降、印刷物とせずWebで公開している。

⑦ 図書管理

●図書台帳の作成

令和元年度新着図書1,468冊のデータベース化と図書台帳作成を行った。センター設立から令和2年3月末日までの図書受け入れ冊数は66,542冊である。

●図書の整理保管

新着図書の記号ラベル添付と図書カード作成後に整理・収納し図書室に配架した。

●図書の貸出

令和元年度は610件の貸出があった。

表6 図書受け入れ冊数

年 度	財団寄贈	県立寄贈	購 入	合 計
平成22年度まで	39,413	6,394	4,722	50,529
平成23年度	1,483	62	79	1,624
平成24年度	1,954	166	50	2,170
平成25年度	1,734	111	43	1,888
平成26年度	1,789	75	148	2,012
平成27年度	1,567	46	30	1,643
平成28年度	1,527	45	24	1,596
平成29年度	1,722	30	35	1,787
平成30年度	1,642	16	97	1,755
令和元年度	1,468	13	57	1,538
合 計	54,299	6,958	5,285	66,542

⑧ 所内展示

当センター本館玄関ホールにおいて、当センター保管の各時代のの遺物資料を展示している。

⑨ ホームページ運営 (URL: <http://www.iwate-maibun.jp/>)

主な項目と内容

- ・「発掘調査」発掘調査の方法や現在発掘中の遺跡・室内整理の状況を進捗状況に合わせて逐次紹介。
- ・「現地説明会・現地公開のご案内」現地説明会のお知らせと開催した説明会のレポートを掲載。
- ・「出土品ギャラリー」これまでに調査した遺跡から出土した遺物の代表的なものを紹介。
- ・「いわての歴史年表」主な遺跡を掲載した年表を掲載。
- ・「イベントレポート」公開講座や遺跡報告会、体験教室など行事の様子を紹介。
- ・「ムービー」センター創設以来の業務の紹介映像
- ・東日本大震災関連の発掘調査に関してはコーナーを設けて検索しやすいように配置している。
- ・平成31年4月から令和2年3月までのアクセス数は26,796件で、月平均2,233件であった

⑩ 広報活動

●FMいわてのラジオ番組”Posh”内の事業団提供”You Gotta Culture”で月1回程度、現地説明会やイベント等の開催について告知している。

●岩手県広聴広報課の広報活動に応募し、ラジオ、コンビニエンスストア、ショッピングセンター、ツイッター等で、現地説明会やイベント等の開催について広報を行っている。

表7 ラジオ放送による広報活動

放送日	内容	担当者
5月17日	令和元年度の埋蔵文化財センターの事業	金子佐知子主幹兼課長補佐
6月14日	福島県富岡町「毛萱館跡の調査」	高木 晃課長補佐
7月19日	体験教室「みんなで考古学者2019」のおしらせ	村上 絵美文化財専門員
9月6日	北上の発掘現場から	星 雅之課長補佐
10月11日	復興発掘調査展 in 田野畑のおしらせ	金子佐知子主幹兼課長補佐
11月8日	第40回埋蔵文化財展について	八木 勝枝文化財専門員
12月6日	今年の調査成果	斎藤 邦雄副所長兼調査課長
1月17日	埋蔵文化財公開講座・遺跡報告会のおしらせ	高木 晃課長補佐

⑪ 遺跡見学・体験学習・教職員研修 / 現地説明会

表8 遺跡見学等 (一般・研究者・関係者等)

No.	受入日	遺跡名	機関名 (申請者)	人数	内容
1	6月13日	北条館跡	ひづめ館懇話会	20	見学
2	11月7日	北条館跡	赤石公民館	20	見学
計2件				40名	

表9 体験学習 (生徒・学生)

No.	受入日	遺跡名	機関名 (申請者)	人数	内容
1	8月6日	北条館跡	東京都中学生	1	社会学習
2	9月5日	埋蔵文化財センター	飯岡中学校2年生	4	職場体験
計2件				5名	

表10 教職員研修

No.	受入日	遺跡名	所属学校名	人数	備考
1	11月15日	埋蔵文化財センター	岩手県立盛岡工業高等学校	1	中堅教諭等資質向上研修
計1件				1名	

表 11 現地説明会・現地公開

No.	遺跡名	所在地	月 日	種別	人数	遺跡内容（時代区分、遺構の内容）
1	北条館跡	紫波町	7月28日	説明会	140	古代・中世 12世紀 掘立柱建物2、土坑5、柵列1 中世 堅穴建物6、掘立柱建物16、柵列4列、堀2、溝4、土坑36、井戸1基、炉（カマド状遺構）20、柱穴約1500 出土遺物 かわらけ、国産陶器、中国産磁器、銭貨、金属製品、茶臼など
2	成田岩田堂館跡	北上市	8月3日	説明会	126	縄文時代～中世後半 縄文時代 陥し穴16 弥生時代 土器埋設1 平安時代 堅穴建物7 炭窯4 中世後半 堀1条 土塁2 出入口施設1 門1 掘立柱建物8 柱穴約500 カマド状遺構1 出土遺物 縄文土器・弥生土器・土師器・銭貨・陶磁器
計2回					266名	

## ⑫ 資料の実見・資料の貸出・写真の貸出

表 12 資料の実見

No.	受入日	申請者	内 容
1	5月14日	岩手県立博物館	論文作成
2	5月15日	東北歴史博物館	借受事前調査
3	5月24日	千曲市教育委員会	論文作成
4	6月28日	福島県立博物館	借受事前調査
5	7月9日	日本旧石器学会	論文作成
6	7月11日	新潟県埋蔵文化財センター調査事業団	論文作成
7	7月29日・31日	明治大学黒曜石研究センター	論文作成
8	9月4日～6日	東京大学院生	資料貸出
9	9月9日	株式会社四門	調査事前準備
10	9月17日～19日	奥州市埋蔵文化財調査センター	借受事前調査
11	9月24日他	盛岡大学	論文作成
12	10月23日～25日	東京大学大学院	論文作成
13	11月21日・22日	新潟市文化財センター	論文作成
14	12月3日	福島県立博物館	論文作成
15	12月18日	盛岡大学4年生	論文作成
16	1月16日	一般	土偶複製製作の資料
17	1月17日	北上市立埋蔵文化財センター	論文作成
18	1月27日	北上市立博物館	論文作成
19	1月29日	奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所	論文作成
20	2月28日	物流・交流を考える会	資料見学会
21	3月11日	岩手大学考古学研究室	論文作成

表 13 資料の貸し出し

No.	貸出年月日	貸出先	事業
1	5月22日	北上市史編纂室	北上市史編纂事業
2	5月23日	岩手県立博物館	古・岩手のクロガネ
3	6月3日	奥州市教育委員会	発掘された奥州市展—平泉藤原氏の母なる地・胆江—
4	6月17日	宮古市教育委員会	大地を掘ると、海の恵みがみえてくる
5	7月5日	仙台市富沢遺跡保存館	センダイ 遺跡の記憶
6	8月20日	福島県立博物館	あにまるず・どうぶつの考古学
7	9月3日	東北歴史博物館	蝦夷—古代エミシと律令国家
8	10月21日	奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展「文字資料を掘る」
9	11月21日	志波城古代公園	講話「古代史のつどい・志波城と平泉藤原氏」
10	11月26日	岩手県立博物館	岩手の土偶の始まり

No.	貸出年月日	貸出先	事業
11	11月28日	志波城古代公園案内所	古代史のつどい・志和城と平泉藤原氏
12	2月25日	宮古市教育委員会	田老地区の発掘調査展
13	3月10日	仙台市縄文の森広場	東北の縄文遺跡③岩手県山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡

表 14 写真の貸出

No.	月	貸出先(申請者)	目的	遺跡名	資料内容	点数
1	4月	株式会社 敬文舎	安齋正人『縄文時代史 中』に掲載	力持遺跡他1遺跡	遺構写真	4
2	4月	金山 順雄	季刊会報『甲冑武具研究』に掲載	不動館跡	遺物写真	2
3	4月	山川出版社	『図説 歴史散歩辞典』に掲載	西田遺跡	遺構図面	1
4	4月	岩手県立博物館	読売新聞連載「土曜博物館」に掲載	大日向Ⅱ遺跡	遺物写真	1
5	4月	岩手県立博物館	「古・岩手のクロガネー発掘から見えてきた古代～中世の鉄文化」に掲載	江川鉄山遺跡他	遺構・遺物写真	62
6	4月	花巻市教育委員会	『週刊 日本の城(改訂版)』に掲載	万丁目遺跡	航空写真	1
7	5月	奥州市教育委員会	奥州市展2019「平泉藤原氏の母なる地・胆江」に掲載	漆町遺跡 他9遺跡	航空・遺構・遺物写真	24
8	5月	岩手県立博物館	「博物館だよりNo.161」に掲載	石田Ⅰ・Ⅱ遺跡 他2遺跡	遺物写真	4
9	5月	花巻市教育委員会	企画展「豊沢川流域のエミシ」で展示	古館Ⅱ遺跡	航空・遺構写真	8
10	6月	宮古市教育委員会	特別企画展「大地を掘ると、海の恵みがみえてくる」で展示	焼山遺跡 他8遺跡	航空・遺構・遺物写真	17
11	6月	仙台市富沢遺跡保存館	特別企画展「センダイ 遺跡の記憶」で展示	大向上平遺跡	遺構写真	9
12	6月	株式会社 キャデック	『ずかん縄文土器』に掲載	大向上平遺跡 他1遺跡	遺構・遺物写真	3
13	6月	いわき市勿来関文学歴史館	企画展「白水阿弥陀堂と徳尼伝説」で展示	柳之御所遺跡	遺物写真	1
14	6月	花巻市博物館	「発掘された日本列島2019」「花巻城一南部領の成立と展開」に展示	笹間館跡	航空・遺構写真	2
15	6月	花巻市教育委員会	企画展「豊沢川流域のエミシ」で展示	万丁目遺跡	航空写真	1
16	6月	歴史春秋出版株式会社	『歴史春秋ブックス安積4郡山の古墳』に掲載	中半入遺跡	遺物写真	1
17	7月	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」に掲載	万丁目遺跡	航空・遺構・遺物写真	11
18	7月	軽米町教育委員会	軽米町歴史民俗資料館常設展示室に展示	君成田Ⅳ遺跡他4遺跡	航空・遺構・遺物写真	19
19	7月	東北歴史博物館	特別展「蝦夷-古代エミシと律令国家-」で展示	長根Ⅰ遺跡	遺構写真	1
20	7月	株式会社 雄山閣	「縄文文化の繁栄と衰退」の論考内に掲載	大橋遺跡	遺構写真	5
21	8月	株式会社 中央公論新社	『前方後円墳とはなにか』に掲載	中半入遺跡	遺物写真	3
22	8月	奥州市	暮らしのガイドブックに掲載	接待館遺跡	航空写真	1
23	8月	津南町教育委員会	企画展「技と造形の縄文世界-形と文様にみる美の心」で展示	萩内遺跡	遺物写真	1
24	8月	盛岡市遺跡の学び館	企画展「安部氏最後の拠点 厨川」に展示	河崎の柵擬定地	遺構写真	2
25	9月	ブルガリア弥生展実行委員会	ブルガリア弥生展でパネル展示	手代森遺跡	遺物写真	2
26	9月	雄山閣	『身を飾る縄文人』に掲載	大向上平遺跡	遺構・遺物写真	4
27	10月	一関文化会議所	『誘い 磐井の歴史と文化』に掲載	清田台遺跡他1遺跡	遺構写真	2
28	10月	帝京大学総合博物館	企画展「古代多摩に生きたエミシの謎を追え」に展示	千苅遺跡他1遺跡	遺構・遺物写真	4
29	10月	御所野縄文博物館	「鳥海地区の縄文文化」に展示	柵の木遺跡	遺構写真	5

No.	月	貸出先(申請者)	目的	遺跡名	資料内容	点数
30	10月	奥州市埋蔵文化財センター	「文字資料を掘る」に展示	道上遺跡	遺物写真	1
31	10月	御所野縄文博物館	「山・川・海を行き交った縄文の人々」に展示	力持遺跡	遺構・遺物写真	9
32	11月	五十嵐ジャンヌ	ウェブサイト <a href="http://serpe.org/">http://serpe.org/</a> で公開	峠山牧場Ⅰ遺跡	遺物写真	1
33	12月	吉川弘文館	『平泉の文化史 考古編』に掲載	衣の関道遺跡他3遺跡	航空・遺構写真	1
34	12月	内閣府迎賓館京都市事務所	「第5回京都迎賓館文化サロン」中に使用	手代森遺跡	遺物写真	1
35	12月	那須野が原博物館	企画展「縄文クロスロード・槻沢」に使用	襲帯遺跡	遺構写真	1
36	12月	(株)ジャパン通信情報センター	『文化財発掘出土情報』に掲載の	北条館跡	現地説明会資料	1
37	1月	岩手県教育委員会	岩手県文化財保護審議会の資料に使用	長倉Ⅰ遺跡	遺物写真	8
38	1月	盛岡市遺跡の学び館	公民館歴史講座の発表用パワーポイントに使用	芋田Ⅱ遺跡 他1遺跡	遺構・遺物写真	13
39	1月	花巻市教育委員会	花巻市埋蔵文化財講演会のパワーポイントなどに使用	万丁目遺跡	航空写真	1
40	1月	紫波歴史研究会	「紫波歴史探訪ガイド」への掲載	山屋館経塚	遺構・遺物写真	4
41	2月	洋野町立歴史民俗資料館	岩手考古学研究会発表に係る紹介	赤浜Ⅱ遺跡	遺構写真	1
42	2月	宮古市教育委員会	遺跡調査報告会の遺跡報告及びパネルに使用	向井新田Ⅲ遺跡 他5遺跡	遺構・遺物写真	22
43	2月	御所野縄文博物館	令和元年度調査成果発表会におけるパネル展示の掲載及び発表資料に使用	堀切・竹林遺跡 他1遺跡	遺構写真	11
44	2月	岩手県立博物館	特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」展の展示資料及び、図録等へ掲載	江川鉄山遺跡他9遺跡	遺構写真	17
45	2月	仙台市縄文の森広場	春のコーナー展示「東北の縄文遺跡③-岩手県山田町浜川目沢田Ⅰ-」で使用	浜川目沢田Ⅰ遺跡	遺構写真	6
46	2月	岩手県立博物館	「岩手県立博物館だより」No.164に掲載	上のマッカ遺跡	遺構・遺物写真	2
47	3月	奥州市埋蔵文化財調査センター	奥州市内発掘調査パネル展掲載	境・山下遺跡	遺構写真	2
48	3月	十日町市博物館	十日町市博物館の常設展パネルに掲載	塩ヶ森Ⅰ遺跡	遺物写真	1
49	3月	株式会社 かみゆ	「アイヌ民族のすべて(仮)」に掲載	柳之御所遺跡	遺物写真	1
50	3月	奥州市	奥州市市政要覧に掲載	大清水上遺跡 他1遺跡	遺構・航空写真	2
51	3月	三内丸山遺跡センター	特別展『縄文マジカル』の展示図録等に掲載	馬立Ⅱ遺跡	遺物写真	1
52	3月	奥州市教育委員会	史跡柳之御所・平泉遺跡群接待館遺跡保存活用計画書への掲載	接待館遺跡	航空・遺構写真	10
53	3月	岩手県文化財愛護協会	「いわて文化財281号：岩手県・新指定文化財の紹介」に掲載	長倉Ⅰ遺跡	遺物写真	1
					計	319

## 4 外部協力

### (1) 講演・研究発表・会議・指導

表15 講演・研究発表・会議・指導等

No.	主催者	場所	月日	内容	職	氏名
1	ひづめ館 懇話会	ナックスホール	7月7日	南日語大銀Ⅱ遺跡第4次調査について	主任文化財専門員	西澤 正晴
2	釜石市 教育委員会	釜石市教育センター	7月10日	令和元年度釜石市屋形遺跡調査指導委員会	文化財専門員	八木 勝枝
3	釜石市 教育委員会	釜石市教育センター	7月11日	第1回釜石市橋野高炉史跡整備検討委員会	主幹兼課長補佐	金子佐知子



No.	主催者	場所	月日	内容	職	氏名
4	岩手考古学会	崎山貝塚縄文の森ミュージアム	7月13日	岩手考古学会第51回研究大会 研究発表「長谷堂貝塚2016・17年度調査の動物遺存体」	課長補佐	高木 晃
5	花巻市博物館	花巻市博物館	8月10日	考古学講座「岩手と福島の復旧復興事業と埋蔵文化財」	主任文化財専門員	杉沢昭太郎
6	岩手大学 平泉文化研究センター	オガールプラザ	8月25日	比爪学講演会「平泉文化と樋爪氏」	主任文化財専門員	西澤 正晴
7	日本中世土器研究会	龍谷大学 大宮キャンパス	11月30日 ～12月1日	第38回中世土器研究会 『柱状高台土器を考える』 「東北地方における柱状高台供膳具」発表	文化財専門員	福島 正和
8	岩手県教育委員会	一関文化センター中ホール	11月30日	第20回平泉文化フォーラム 報告「柳之御所遺跡等の発掘調査成果」	文化財専門員	北村 忠昭
9	北上市教育委員会	日本現代詩歌文学館	1月11日	講演「発掘調査と伝承からみた二子城」	主任文化財専門員	丸山 直美
10	九戸村教育委員会	九戸村役場	2月5日	黒山の昔穴遺跡調査指導委員会	副所長兼調査課長	斎藤 邦雄
11	金ヶ崎町教育委員会	中央生涯教育センター	2月8日	国指定史跡鳥海柵シンポジウム	文化財専門員	北村 忠昭
12	釜石市教育委員会	釜石市教育センター	2月19日	第2回釜石市橋野高炉史跡整備検討委員会	主幹兼課長補佐	金子佐知子

## (2) 執筆

表 16 執筆

No.	依頼元	出版物	月日	内容	職	氏名
1	雄山閣	縄文文化の繁栄と衰退	9月10日	東北地方の集落と遺跡群—岩手県北上市大橋遺跡とその周辺遺跡を中心に—	文化財専門員	八木 勝枝
2	雄山閣	身を飾る縄文人—副葬品から見た縄文社会—	10月25日	コラム① 東北部地域の墓と副葬品—青森・岩手・秋田—	文化財専門員	八木 勝枝
3	縄文文化研究会	縄文時代の葬墓制研究の現段階	12月7日 ～12月8日	岩手県における縄文時代墓域の諸様相	文化財専門員	八木 勝枝
4	文部科学省科学研究費基盤研究C(研究代表者:須賀博子) 成果公開シンポジウム	日本列島における適応形態の広域比較—縄文時代中期末を巡って—	12月21日	北上川中流域における縄文時代中期末から後期初頭への変動	文化財専門員	八木 勝枝
5	土偶研究会	第17回土偶研究会長野県大会	1月19日	岩手県2018年度土偶報告	文化財専門員	八木 勝枝
6	吉川弘文館	平泉の文化史1 平泉を掘る 寺院庭園・柳之御所・平泉遺跡群	3月10日	三陸海岸における奥州藤原氏時代の遺跡	文化財専門員	村田 淳
7	吉川弘文館	平泉の文化史1 平泉を掘る 寺院庭園・柳之御所・平泉遺跡群	3月10日	平泉の建築遺構	主任文化財専門員	西澤 正晴
8	花巻市博物館	花巻市博物館研究紀要 第15号	3月31日	花巻城出土の陶磁器類 花巻城期における出土傾向の分析	文化財専門員	村田 淳
9	株式会社吉川弘文館	続・東北の名城を歩く—青森・岩手・秋田編—	2020年8月刊行予定	野田村伏津館の調査	文化財専門員	北田 勲

公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿（令和元年度）

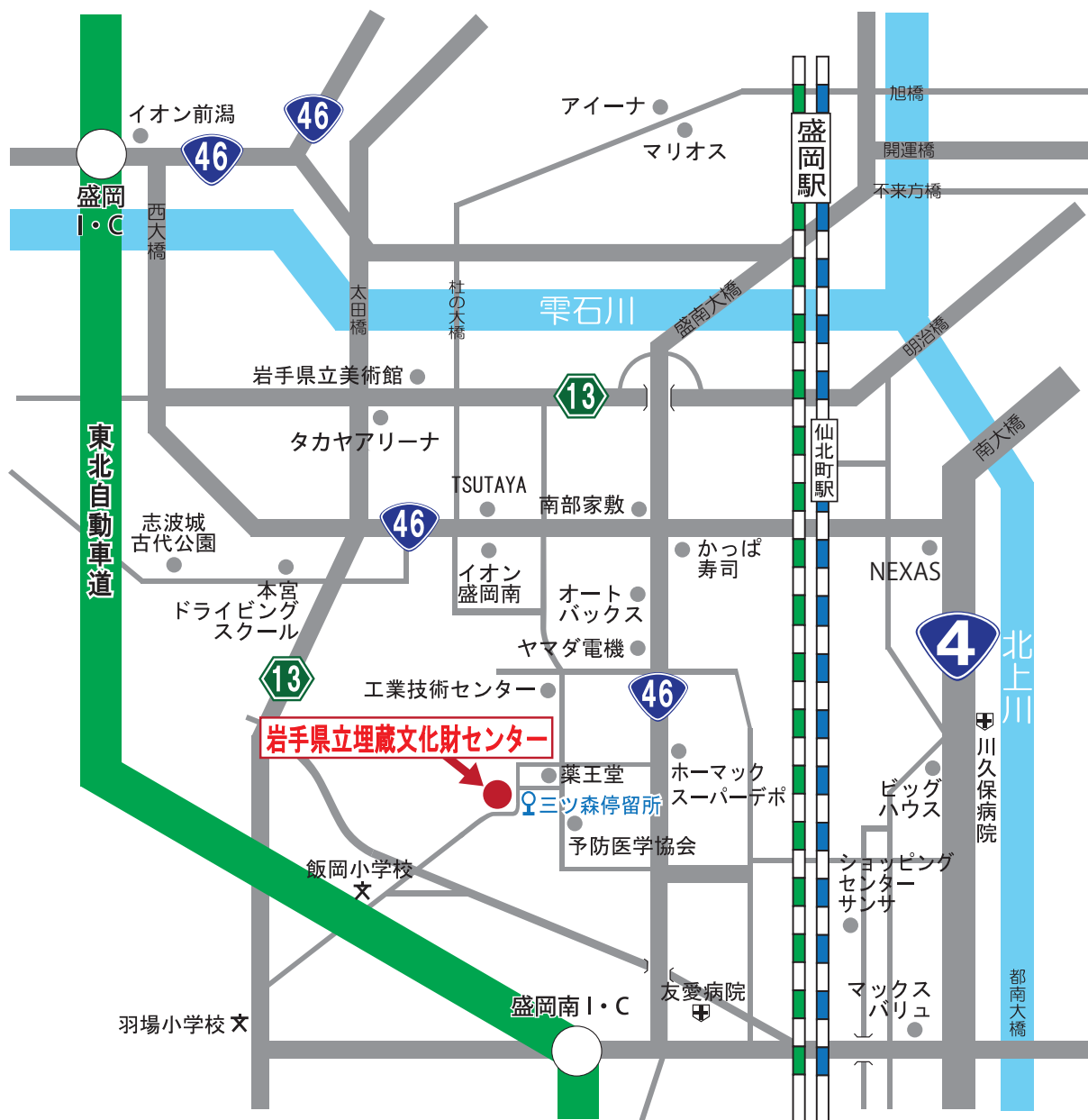
理事兼所長 佐々木一成  
副所長兼調査課長 斎藤 邦雄

〔総務課〕

総務課長	猪久保健一	総務事務員	舘澤 彩
主任主査	吉田 秀幸	〃	武田 秀徳
主事	松尾 健生	〃	築田 智恵
総務事務員	佐々木真貴子		

〔調査課〕

副所長兼調査課長	斎藤 邦雄	文化財専門員	北田 勲
主幹兼課長補佐	金子佐知子	〃	村上 絵美
課長補佐	星 雅之	〃	村田 淳
〃	高木 晃	文化財調査員	野中 裕貴
主任文化財専門員	羽柴 直人	期限付調査員	河村 美佳
〃	阿部 勝則	〃	川村 英（12月まで）
〃	杉沢昭太郎	〃	小野寺永人
〃	溜 浩二郎	〃	中島 康祐
〃	村上 拓	〃	佐藤 敬太
〃	丸山 直美	〃	酒井野々子
〃	村木 敬	〃	伊東 格（普及啓発関係業務）
〃	西澤 正晴	調査事務員	高橋 千里
文化財専門員	福島 正和	〃	篠原 理恵
〃	北村 忠昭（柳之御所遺跡調査支援）	〃	吉岡 由哲
〃	須原 拓（福島財団出向）	室内整理作業指導員	村松 紀子
〃	八木 勝枝	〃	阿部奈緒美
〃	川又 晋		



### アクセス

- 東北新幹線盛岡駅、JR 東北本線仙北町駅下車
- 盛岡駅発岩手県交通バス飯岡線湯沢団地經由矢巾営業所行き三ツ森停留所下車
- 仙北町駅西口より徒歩約 30 分
- 東北自動車道盛岡南インターチェンジより車で 10 分

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡 11 地割 185 番地

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

E-mail アドレス i-maibun@echna.ne.jp

ホームページ <http://www.iwate-maibun.jp>

---

# 年 報

令和元年度版

発 行 令和2年7月31日

発 行 (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地  
TEL (019) 638-9001  
FAX (019) 638-8563

---